

中山町 中山町学校給食センター



贈呈理由

業務用エコキュートの導入により、安全かつ環境性に配慮した給食センターを実現



施設全景

中山町は、山形県のほぼ中央部に位置し、町の北部には山形県を代表する母なる川「最上川」が流れ、江戸時代は小鵜飼船の往来や米の積み出し港として舟運が盛んに行われており、町内に京都の文化が色濃く残っている。大庄屋をつとめた柏倉家住宅があり、学術的にも貴重な建築で県の有形文化財に指定されている。

作業区域の明確化、 個食対応の専用コーナー

1970(昭和45)年に建築された学校給食共同調理場は建築後44年を経過し、施設の老朽化・狭隘化とともに学校給食衛生管理基準などが改正されていたこともあり、給食施設の抜本的な改善が望まれていた。

2015(平成27)年2月に竣工した新給食センターは、小・中学校3校を配食先とした1日1,000食の調理能力を有した

施設で、快適な作業環境と衛生管理の向上に対応したドライシステムを採用するにあたりオール電化が導入された。厨房内は、汚染エリア・非汚染エリアを明確化し、衛生的で機能的な動線を確保するとともに、アレルギー食専用の調理コーナーを設けるなど食の安全性にも配慮している。

給湯設備には、調理や食器洗浄などに大量のお湯を使用することから、省エネルギー性に優れ、一度に大量のお湯が使える業務用エコキュートを採用し、環境負荷の低減とランニングコストの削減に大きく寄与している。さらには、従来の給湯設備より操作が容易になり運転調整作業が不要となったことで、操作性やメンテナンス面でも大きく改善されている。

同センターには、見学エリアが設けられており、子どもたちへ食育を推進する

ための生きた教材としての重要な役割と、これまで以上に安全でおいしい給食を提供していくことが期待されている。



業務用エコキュート

中山町 学校給食センター

所在地: 山形県東村山郡中山町大字岡2032-13
 建築設計: (株) 泰・伊藤設計
 建築施工: 愛和建设(株)
 蓄熱設備設計: (株) 泰・伊藤設計
 蓄熱設備施工: 弘栄設備工業(株)
 延床面積: 618.02㎡
 竣工: 2015年(新設)

■蓄熱設備概要
 業務用エコキュート 15kW×4台(日立アプライアンス)
 貯湯槽: 6.72㎡